

令和7年度

第1回 高岡の森弘前藩歴史館協議会

資 料

令和7年11月5日（水）

高岡の森弘前藩歴史館

案件1 観覧料等の見直しについて

◇団体料金(20名以上)の廃止

◇2館共通券(博物館・歴史館)の廃止

◇無料入館者の拡大

- ・未就学児(これまでも全額減免で結果的に無料)
  - ・市外の小学生及び中学生
  - ・高校生及び大学生
- 〈引き続きこれまでどおり無料入館者〉
- ・65歳以上の市民
  - ・障がい者
  - ・施設入所支援・サービス利用者
  - ・ひろさき多子家族応援パスポートを持参の人

◇新旧観覧料

		企画展		特別企画展	
		現行	見直し後	現行	見直し後
未就学児		減免	無料	減免	無料
小・中	市内	無料	無料	無料	無料
	市外	100円(50円)		—	
高・大	市内	150円(110円)	無料	—	無料
	市外				
一般	市内	300円(220円)	300円	—	500円以上
	市外				

※特別企画展は、条例により都度市長が定める

案件2 令和6年度事業報告について

(1) 歴史館利用状況

区 分	人数、件数	備 考
展覧会入館者数	6,643人	目標7,000人 (94.9%)
イベント参加者	459人	6/23流鏑馬 459人
歴史館講座参加者	41人	7/20 第1回 17人 11/2 第2回 24人
出前講座参加者数	86人	5/16 中央公民館へ「テラズ」セミナー 10/7, 1/20弘前「ポーター」クラブ
特別利用等件数	6件	6件、合計 65点
合 計	7,229人 6件	

(2) 展覧会関係 (年4回の展覧会を開催)

展覧会名 【会期】	開館 日数	内 容
津軽の刀 【4/2～5/30】	57日	当地域に伝わる多彩な刀剣を取り上げるとともに、刀剣に関する素朴な疑問・独特な用語などを解説する。
弘前藩の絵画 【6/15～9/1】	76日	弘前藩お抱え絵師の他、津軽地方にゆかりのある絵師らの掛軸・絵馬・屏風などの絵画作品を中心に紹介する。
高照神社展 【9/18～12/6】	78日	岩木山麓に創建された高照神社の歴史と奉納された宝物、祭神である4代藩主津軽信政の事績などを紹介する。
貴田稲城奉納絵図展 【12/23～3/16】	76日	山鹿流兵学者貴田孫太夫の子孫貴田稲城によって、高照神社に奉納された絵図類を中心に紹介する。
合 計	287日	

【展覧会入館者詳細】

区 分			津軽の刀	弘前藩の絵画	高照神社展	貴田稲城奉納絵 図展	計	
観覧料収入 (円)			539,720円	383,380円	345,220円	75,000円	1,343,320円	
会期日数 (日)			57日	76日	78日	76日	287日	
観覧者総計 (人)			2,605人	1,822人	1,805人	411人	6,643人	
一日当り観覧者数 (人)			46人	24人	23人	5人	23人	
市内小中学校団体観覧者数			143人	25人	180人		348人	
うち学校数			2校	1校	1校		4校	
有料観覧者数	単独券	個人	一般	1,669人	1,211人	1,061人	234人	4,175人
			福利厚生会	2人	人	3人	人	5人
			高大	102人	52人	32人	21人	207人
			小中	59人	66人	20人	6人	151人
			計	1,832人	1,329人	1,116人	261人	4,538人
	団体	一般	49人	22人	90人	人	161人	
		高大	人	人	人	人	人	
		小中	人	人	人	人	人	
		計	49人	22人	90人		161人	
	共通券	個人	一般	15人	2人	1人	2人	20人
			高大	人	人	人	1人	1人
			小中	1人	人	人	人	1人
			計	16人	2人	1人	3人	22人
		団体	一般					
			高大					
			小中					
			計					
合計			1,897人	1,353人	1,207人	264人	4,721人	
有料観覧者割合			72.8%	74.3%	66.9%	64.2%	71.1%	
無料観覧者数	6 5 歳以上		351人	234人	295人	89人	969人	
	小中		210人	91人	199人	26人	526人	
	障がい者		47人	35人	31人	7人	120人	
	留学生		8人	人	2人	2人	12人	
	介護者		30人	22人	13人	2人	67人	
	共通券	一般	9人	10人	2人	1人	22人	
		高大	人	人	人	人	人	
		小中	人	人	人	人	人	
	減免	一般	人	人	人	人	人	
		高大	人	人	人	人	人	
		小中	人	人	人	人	人	
	多子家族	親	6人	15人	11人	3人	35人	
		子	9人	23人	15人	6人	53人	
	視察		2人	6人	5人	人	13人	
招待		36人	33人	25人	11人	105人		
合計			708人	469人	598人	147人	1,922人	
無料観覧者割合			27.2%	25.7%	33.1%	35.8%	28.9%	

### (3) イベント開催

#### ①流鏝馬（高照神社馬場跡）

○実施日：令和6年6月23日（日）1回目10:15～、2回目12:15～

○内容 天地浄射の儀（鳴鏝5射）、流鏝馬、笠懸、馬上武芸

○イベント観覧者：459人（1回目288人、2回目171人）

（歴史館入館者：164人）

これまでの来場者数の推移

平成30年度 9/30(日) 293人(1回実施)

令和元年度 6/16(日) 午前の部・午後の部 合計638人(2回実施)

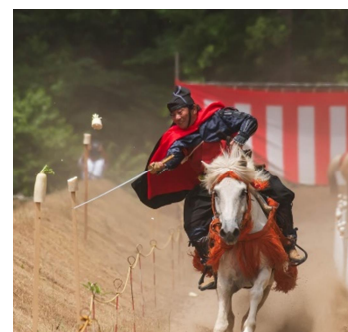
令和2年度 10/ 3(土) 入れ替え制1回目280人、2回目129人、3回目119人 合計528人

令和3年度 10/ 2(土)に予定 新型コロナウイルス感染者急拡大等のため中止

令和4年度 9/ 25(日) 入れ替え制1回目268人、2回目146人、3回目148人 合計562人

令和5年度 6/ 25(日) 入れ替え制1回目190人、2回目122人 合計312人

※市ホームページ、広報ひろさき、ポスターで周知。



○イベントの動画がライブニュース アップルストリームにアップロード

○アンケートをweb限定で配布プログラムにQRコードを付けて引き続き実施…10人から回答

#### 結果

② 初めて流鏝馬を観覧…60%

③ イベント前後で歴史館に入館…20%

④ 満足…90%

⑤ 今後歴史館に来館する可能性は「高い」を10段階中7以上選択した人…80%

⑤自由記載(抜粋)

●次は家族と見に来たい。

●子どもが甲冑を着てみる体験などがあつたらよい。

#### ②その他

令和4年度まで実施していたロビーコンサート、抜刀道及び古武道演武イベントについては、建設後6年を経て空調設備に不具合が生じたことから、多額の修繕費用の捻出にイベント費用を充当し、令和5年度から当面イベント休止することとした。

#### (4) 講座等

##### ①歴史館講座

歴史館に関するテーマで講座を2回開催。

開催日	テーマ	講師	募集定員	参加者数 (当日入館者数)
7/20(土) (第1回)	暮らしを守る津軽の森林 ～藩政史料にみる“青い森”の実像～	萱場 真仁 氏 (公益財団法人徳川黎明会 徳川林政史研究所 研究員)	25名	17人 (30人)
11/2(土) (第2回)	高照神社を守り継いだ人々	蔦谷 大輔 氏 (弘前大学国史研究会 会員)	25名	24人 (53人)

会場：映像・講話室（事前申込制・先着順）

##### ②刀剣保護プロジェクト 刀剣鑑賞基礎講座

○実施日：1回目 令和6年5月11日(土) 14:30～15:10

2回目 令和6年5月19日(日) 10:30～11:30

○内 容：春の企画展「津軽の刀-悠久の美をひもとく-」に展示されている刀剣の中から選りすぐりの刀剣について、若手刀剣愛好家(日本美術刀剣保存協会青森県支部所属)がその目線による鑑賞ポイントや魅力などを分かりやすく説明するもの

○参加者：1回目 48人(歴史館入館者：88人)

2回目 42人(歴史館入館者：96人)

○アンケート結果より抜粋

- 刀剣について詳しく知る事ができ、自分で鑑賞したとしたら、楽しさが全く違ったものになっていたと思います。
- 初心者なのに私にもわかり易くていねいに説明して頂き、大変勉強になりました。太刀と刀の違いなども、理論的にくわしくわかりました。
- 日本刀についてとてもわかりやすく楽しかったです。歴史の話を入れながら持っていた人も想像できて楽しめました。実際に持ったりするのは難しいですが、外から見える刀の見方としてわかりやすかったです。

##### ③弘前市出前講座等の講師派遣

・弘前市出前講座 No. 64 「名君信政と高照神社の宝物」

実績:1回 36人(依頼団体…弘前市中央公民館(桜松会・ベテランズセミナー))

・講師派遣依頼 「令和6年度秋の企画展「高照神社展」の紹介」

実績:1回 25人(依頼団体…弘前ロータリクラブ例会)

・講師派遣依頼 「令和6年度冬の企画展「貴田稲城奉納絵図展」の紹介」

実績:1回 25人(依頼団体…弘前ロータリクラブ例会)

#### (5) 博物館実習の受け入れ

実習期間：令和6年10月15日(火)～20日(日)のうち、歴史館分は10月16日(水)

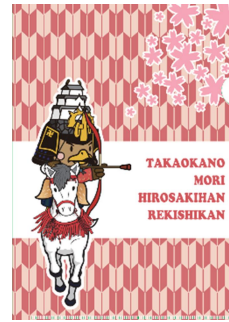
所属大学・参加人数等：盛岡大学1名 弘前学院大学2名 計3名

実習内容：①施設・展示等解説

②資料の取り扱いについて(武具等)

## (6) 出版物等の作製

- 出版物実績:なし
- たか丸くん（流鏑馬バージョン）クリアファイルを作製  
4月から販売開始



## (7) 資料寄贈・寄託等

- ①寄贈:2件2点（「肩衣」、「短刀 銘 津軽住人國俊造之」）  
※【繰り越し分】令和4年度寄贈古文書類のうち、現在整理作業中のため点数未確定・目録未作成のもの1件あり（寄贈手続きは完了）。分量は段ボール箱5箱分。
- ②寄託:1件2点（市指定有形文化財「色々威黒漆塗具足」・「色々威具足」〔令和元年に市立博物館より寄託先変更。単年での寄託更新であったが、寄託者との協議により令和7年度から5年ごとの更新に変更〕）
- ③購入:2件3点（「脇差 銘 應田中知良需津軽住紀正賀於東武鍛之」、「関ヶ原合戦諸大名軍配置図」・「奥州津軽領絵図」）
- ④移管予定:1件点数未確定（岩木地区関係古文書・絵図類）  
※【繰り越し分】令和5年度に当館へ引き渡しを受けたもの。現在整理作業中のため点数未確定・目録未作成。分量は段ボール箱17箱分

## (8) 特別利用等

- ①資料閲覧・撮影:2件60点（「高岡終始記」等〔近現代の高照神社の経営実態に関する研究に利用するため〕、狩野探幽筆「桐鳳凰図屏風」含む江戸城本丸御殿表向にあった屏風群の頂点に位置していた狩野常信筆「東方朔・西王母・王子喬」屏風の図様復元の研究のため）
- ②画像データ提供:2件3点（『大人の休日倶楽部』会員誌4月号の津軽家特集で紹介するため）
- ③資料掲載・放映:2件2点（狩野探幽筆「桐鳳凰図屏風」と江戸城本丸御殿表向にあった屏風群に関する研究論文の挿絵として掲載するため。『サントリー美術館研究紀要』第9号掲載）
- ④資料貸出:0件

## (9) その他の事業等

- ①団体客等への解説対応  
 希望する団体等に対し、学芸員により解説を実施（原則予約制）  
 実績:33回 695人  
 上記のうち市内小中学校関係の解説対応:  
 実績:4校計7回 348人

	学校名	学年別	人数	事業別	事業とりまとめ担当等
1	時敏小	5年生	68人	史跡等公開活用事業	文化財課
2	時敏小	3年生	56人	校外学習(学校個別)	
3	北辰中	1年生	34人		
4	第四中	2年生	109人		
5	相馬中	1年生	25人		
6	時敏小	6年生	27人		
7	時敏小	6年生	29人		

②レファレンス対応

窓口・電話・メール・文書等により寄せられた質問等について、学芸員が回答する。

実績: 76件

③看板設置等

○市役所玄関に、展覧会毎にPR用看板の設置を継続。

○市のマスコットキャラクターたか丸くんのデザインを取り入れたのぼりを境内駐車場から歴史館への通路に3本、歴史館入口に1本設置しPR

④ポスター、絵葉書等販売状況

種 類	単価(円)	R6 年度販売実績	累計販売実績	販売開始時期
名品図録	1,000	106 冊	512 冊	令和2年4月
クリアファイル 2種類 太刀 銘 友成/太刀 銘 真守	200	112 枚	537 枚	令和2年3月
クリアファイル 2種類 たか丸くん	300	129 枚	196 枚	令和5年6月
絵葉書 3種類 津軽信政着用具足レプリカ/太刀 銘 友成/太刀 銘 真守	100	58 枚	223 枚	令和2年3月
ポスター(配布残部)	400	32 枚	117 枚	令和元年10月

案件3 令和7年度事業計画並びに経過報告について

(1) 歴史館利用状況

区 分	人数・件数	備 考
展覧会入館者数	4,964人	目標 7,000人 (70.9%)
イベント参加者	420人	6/21流鏑馬 420人
歴史館講座参加者	37人	7/26 第1回 18人 10/18 第2回 19人 全2回中 2回実施
出前講座等参加者数		実績なし
特別利用件数	1件	1件4点
合 計	人 件	

R7.10.19現在

(2) 展覧会関係 (年4回の展覧会を開催)

展覧会名 【会期】	開館 日数	内 容
赤羽刀展 【4/5～6/22】	76日	戦後80年を迎えるにあたり、青森県内に所在する赤羽刀 (連合軍による接收刀剣類) 全21振を一挙公開する。
藩主のたしなみ 【7/9～9/21】	72日	弘前藩の歴代藩主による武芸・交際などに着目し、藩主 ゆかりの品々を紹介する。
津軽信政展 【10/8～12/5】	57日	新田開発・文化振興などに力を注ぎ、名君と称された4 代藩主津軽信政の足跡をひもとく。
高照神社奉納品紹介展 【1/17～3/13】	54日	高照神社に奉納された掛軸・屏風、武具刀剣類、古文 書・絵図などを幅広く取り上げる。
合 計	259日	

【展覧会入館者詳細】

区 分			赤羽刀展	藩主のたしなみ	津軽信政展	高照神社奉納品紹介展	計	
観覧料収入（円）			632,500円	430,150円	72,660円		1,135,310円	
会期日数（日）			76日	72日	23日		171日	
観覧者総計（人）			2,828人	1,862人	274人		4,964人	
一日当り観覧者数（人）			37人	26人	12人		29人	
市内小中学校団体観覧者数			32人				32人	
うち学校数			1校				1校	
有料観覧者数	単独券	個人	一般	2,017人	1,298人	191人		3,506人
			福利厚生会	5人	人	1人		6人
			高大	79人	58人	1人		138人
			小中	48人	69人	4人		121人
			計	2,149人	1,420人	197人		3,766人
		団体	一般	21人	103人			124人
			高大					
			小中					
	共通券	個人	一般	14人	9人	3人		26人
			高大		1人			1人
			小中					
			計	14人	10人	3人		27人
		団体	一般					
			高大					
			小中					
			計					
合計			2,184人	1,533人	200人		3,917人	
有料観覧者割合			77.2%	82.3%	73.0%		78.9%	
無料観覧者数	65歳以上		305人	200人	38人		543人	
	小中		116人	41人	12人		169人	
	障がい者		69人	23人	9人		101人	
	留学生		7人	3人	人		10人	
	介護者		37人	14人	5人		56人	
	共通券	一般	7人	10人			17人	
		高大	1人				1人	
		小中						
	減免	一般						
		高大						
		小中						
	多子家族	親	22人	6人			28人	
		子	35人	11人			46人	
	視察		3人	3人			6人	
	招待		42人	18人	10人		70人	
	合計		644人	329人	74人		1,047人	
無料観覧者割合		22.8%	17.7%	27.0%		21.1%		

R7.10.19現在

### (3) イベント開催

#### ①流鏝馬（高照神社馬場跡）

○実施日：令和7年6月21日（土）1回目10:15～、2回目12:15～

○内容 天地浄射の儀（鳴鏝5射）、流鏝馬、笠懸、馬上武芸

○イベント観覧者：420人（1回目269人、2回目151人）

（歴史館入館者：169人）

これまでの来場者数の推移

平成30年度 9/30(日) 293人(1回実施)

令和元年度 6/16(日) 午前の部・午後の部 合計638人(2回実施)

令和2年度 10/3(土) 入れ替え制1回目280人、2回目129人、3回目119人 合計528人

令和3年度 10/2(土)に予定 新型コロナウイルス感染者急拡大等のため中止

令和4年度 9/25(日) 入れ替え制1回目268人、2回目146人、3回目148人 合計562人

令和5年度 6/25(日) 入れ替え制1回目190人、2回目122人 合計312人

令和6年度 6/23(日) 1回目288人、2回目171人 合計459人

※市ホームページ、広報ひろさき、ポスター、定例記者会見で周知。



○7回目の流鏝馬イベントで初めて市長が午前1回目に来場し視察

#### ②その他

令和4年度まで実施していたロビーコンサート、抜刀道及び古武道演武イベントについては、建設後6年を経て空調設備に不具合が生じたことから、多額の修繕費用の捻出にイベント費用を充当し、令和5年度から当面イベント休止している。

#### (4) 講座等

##### ①歴史館講座

歴史館に関するテーマで講座を2回開催。

開催日	テーマ	講師	募集 定員	参加者数 (当日入館者数)
7/26(土) (第1回)	津軽寧親と蹴鞠仲間	岡崎 寛徳 氏 (半蔵門ミュージアム 主任 学芸員)	20 名	18人 (48人)
10/18(土) (第2回)	津軽信政の師匠達 —叔父信英と山鹿素行 そして吉川惟足・従長父子—	福井 敏隆 氏 (弘前大学国史研究会 副会長)	20 名	19人 (29人)

会場：映像・講話室（事前申込制・先着順）

##### ②刀剣保護プロジェクト 刀剣鑑賞基礎講座

○実施日：1回目 令和7年5月10日(土) ①10:30～11:10 ②14:30～15:10

2回目 令和7年6月8日(日) ①10:30～11:30 ②14:30～15:10

○内 容：企画展1「赤羽刀展」に展示されている刀剣の中から選りすぐりの刀剣について、若手刀剣愛好家(日本美術刀剣保存協会青森県支部所属)がその目線による鑑賞ポイントや魅力などを分かりやすく説明するもの

○参加者：1回目 ①11人 ②17人(歴史館入館者：62人)

2回目 ①21人 ②15人(歴史館入館者：94人)

○アンケート結果より抜粋

- 刀剣に関してはほぼ初心者ですが、見方のポイントなど教えていただき、興味がわきました。今後ともこのような企画をお願いします。
- ユーモアをまじえてとてもわかりやすく教えていただけた。見どころも教えていただけてすごくありがたかった。質問にも親身になって教えていただけてもっとしりたいと思った。展示場がゆったりしたスペースでじっくり鑑賞できて大満足だった。

##### ③弘前市出前講座等の講師派遣

- ・弘前市出前講座 No. 68 「名君信政と高照神社の宝物」

実績：なし(令和7年10月末現在)

- ・講師派遣依頼

実績：なし(令和7年10月末現在)

#### (5) 博物館実習の受け入れ

実習期間：令和7年10月28日(火)～11月2日(日)のうち、歴史館分は10月29日(水)～30日(木)

所属大学・参加人数等：弘前学院大学2名 専修大学1名 東京都立大学1名 計4名

実習内容：①施設・展示等解説

②資料の取り扱いについて(武具・文書等)

## (6) 出版物等の作製

- 出版物実績:令和7年9月に名品図録(第二版)を増刷(内容を加筆修正)
- クリアファイル(太刀銘友成作/太刀銘真守)を増刷予定(クラウドファンディング返礼品)

## (7) 資料寄贈・寄託等

- ①寄贈:3件25点(①「短刀 無銘」・「脇差 陸奥守包保」・「脇差 三品但馬守兼光」・「刀 銘 関住兼若作」、②「具足」・「衣装盆」〔2点〕、③「巻物」・「錠前」・「掛軸」〔8点〕・「脇差 銘 月山」・「短刀 銘 紀倫賀」・「額装絵」・「金地牡丹紋付鉄箱」・「具足一式」・「板絵」・「屏風」・「鉄箱の柄」)  
※【繰り越し分】令和4年度寄贈古文書類のうち、現在整理作業中のため点数未確定・目録未作成のもの1件あり(寄贈手続きは完了)。分量は段ボール箱5箱分。
- ②寄託:1件2点(市指定有形文化財「色々威黒漆塗具足」・「色々威具足」〔令和元年に市立博物館より寄託先変更。単年での寄託更新であったが、寄託者との協議により令和7年度から5年ごとの更新に変更〕)  
 ※寄託予定1件1点(「日本刀 銘 相州住伊勢大掾綱廣」)
- ③移管予定:1件点数未確定(岩木地区関係古文書・絵図類)  
※【繰り越し分】令和5年度に当館へ引き渡しを受けたもの。現在整理作業中のため点数未確定・目録未作成。分量は段ボール箱17箱分

## (8) 特別利用等

- ①資料閲覧・撮影:1件4点(津軽神楽調査事業にかかる文献調査)
- ②画像データ提供:なし
- ③資料掲載・放映:3件6点(陸奥新報連載に掲載するため、令和7年度歴史館講座〔10月18日〕配布用レジュメに掲載するため、弘前市立博物館企画展「弘前歴史大図鑑」広報用)
- ④資料貸出:1件3点(弘前市立博物館企画展「ひろさき歴史大図鑑」に展示するため)

## (9) その他の事業等

### ①団体客等への解説対応

希望する団体等に対し、学芸員により解説を実施(原則予約制)

実績:15回 199人(令和7年10月末現在)

上記のうち市内小中学校関係の解説対応:

実績:1校計1回 32人

	学校名	学年別	人数	事業別	事業とりまとめ担当等
1	北辰中	1年生	32人	校外学習(学校個別)	

### ②レファレンス対応

窓口・電話・メール・文書等により寄せられた質問等について、学芸員が回答する。

実績:58件(令和7年10月末現在)

③看板設置等

- 市役所玄関に、展覧会毎に PR 用看板の設置を継続。
- 市のマスコットキャラクターたか丸くんのデザインを取り入れたのぼりを境内駐車場から歴史館への通路に3本、歴史館建物管理用地道路入口に1本設置し PR

④ポスター、絵葉書等販売状況

種 類	単価(円)	R7 年度 販売実績 (10.19 現在)	累計販売実績 (10.19 まで含む)	販売開始時期
名品図録	1,000	73 冊	585 冊	令和2年4月
クリアファイル2種類 太刀 銘 友成/太刀 銘 真守	200	93 枚	630 枚	令和2年3月
クリアファイル2種類 たか丸くん(青・赤)	300	97 枚	293 枚	令和5年6月
絵葉書3種類 津軽信政着用具足レプリカ/太 刀 銘 友成/太刀 銘 真守	100	43 枚	266 枚	令和2年3月
ポスター(配布残部)	400	12 枚	129 枚	令和元年10月

案件4 令和8年度事業計画について

(1) 歴史館利用見込み

区 分	目標値	備 考
展覧会入館者数	7,000人	
イベント参加者	500人	流鏑馬 (1日) 500人
歴史館講座参加者	75人	25人×3回=75人
合 計	7,575人	

(2) 展覧会関係 (年4回の展覧会を開催) ※展覧会名称は全て仮称

展覧会名 【会期】	開館 日数	内 容
企画展1 弘前藩の武芸展 【4/3～5/31】	57日	津軽地域に伝わる刀剣・具足などの武具の他、弘前藩の武芸に関わる古文書などを幅広く紹介する。
企画展2 津軽信政と高照神社 【6/17～8/30】	73日	歴代藩主の中でも名君と称された津軽信政の事績や、死後祀られ「高岡様」と尊崇された高照神社を紹介する。
企画展3 江戸と弘前展 【9/16～12/6】	79日	江戸と国元弘前を中心に、藩領内における生活や、江戸と弘前の往来など旅に関する品々を取り上げる。
収蔵品紹介展 【1/13～3/14】	59日	高照神社奉納品や当館開館後に寄贈された掛軸・武具刀剣類など、収蔵品を幅広く取り上げる。
合 計	268日	

従前の展示替え休館に加え、令和7年度と同じく資料整理・撮影作業期間を設定

令和8年12月7日から令和9年1月12日まで

博物館法改正にともなう登録博物館の再審査 (\*令和10年(2028)3月末までに審査完了が必須)

に向けた未整理資料の整理・目録データの作成、資料写真の撮影作業を集中して行う

